

本 会 記 事

日本植物病理学会令和4年度第1回評議員会議事録

日 時：令和4年2月12日（土）8:00 議題案送信

令和4年2月17日（木）12:00 意見聴取締め切り

開催方法：メール審議

幹事：土佐幸雄会長，増田 税副会長，山次康幸庶務幹事長，宮田伸一庶務副幹事長，川部眞登庶務幹事，藤川貴史庶務幹事，キムオッキョン会計幹事，晝間敬副会計幹事

令和4年度第1回評議員会をメール審議にて開催した。2月12日，土佐会長名で評議員宛にメール審議の依頼文書を送付し，以下の審議事項について審議した。2月17日に意見聴取を締め切り，一部修正の後承認された。

審議事項

1. 会員規程の改訂について

賛助会員の大会への招待数について賛助口数に関わらず1人とする案が令和元年度第1回評議員会で承認され，令和2年度大会からそのように運用がなされているが，該当する規程が改定されていなかったため，実際の運用に合わせるべく規程の改訂が提案され承認された。

2. 会費納付者のみを定時総会議決権をもつ会員として認める件について

定時総会参考資料を含む総会招集通知は現在学会誌に同封して発送しているが，会費未納者には学会誌を発送していないため，総会招集通知の発送が困難な状況にある。この問題を解消するため，会費納付者のみを定時総会議決権をもつ会員として認め，会費未納者は会員とは見なさず，定時総会における議決権を付与しないことが提案され承認された。

3. 事前に同意した会員に電磁的方法により総会招集通知を行う件について

定時総会招集は原則的に書面で行う必要があるが，令和5年度に予定される学会誌のオンライン化に伴い，冊子体配布の大幅削減を見込んでおり，現在のように学会誌に総会招集通知を同封することが大部分の会員に対してできなくなるため，別途総会招集通知を行う必要がある。一方で，法人法には事前に同意した会員に対し電磁的方法により総会招集通知を行うことが可能と記されているため，事前に電子メール等で同意を得た会員に対して電磁的方法で総会招集通知を行うことが提案され承認された。

4. 総会開催方法について

令和4年度大会がオンライン開催となったことに伴い，昨年度と同様に日本植物防疫協会に総会議事進行に必要な最低限のメンバーが参集して令和4年度定時総会を実施し，会員にはその様子をオンラインツール Zoom ウェビナーにて視聴いただくというスタイルで実施することが提案され，承認された。

5. 総会招集方法について

総会決議の成立には会員総数の1/20の会員の参加が必要であるため，令和4年度定時総会においても昨年度と同様に電磁的方法による委任状ならびに議決権の行使による総会決議とすることが提案され，一部修正の後に承認された。

6. 定時総会参考資料ならびに総会決議事項について

定時総会参考資料ならびに総会決議事項について審議され，一部修正の後に承認された。

7. 授賞細則の改訂について

学術奨励賞授賞対象者の産前・産後休暇，育児休業に伴う年齢要件を延長するために必要な細則の改定案が提案され，一部修正の後に承認可決された。

8. 主催・共催・協賛・後援に関する細則について

他学会や研究関連団体などから協賛，後援などの依頼がたびたび寄せられているため，統一した基準を定めるべく，主催・共催・協賛・後援に関する細則案が策定・提案され，一部修正の後に承認可決された。

日本植物病理学会令和4年度第1回理事会議事録

日 時：令和4年2月20日（日）10:00～11:00

開催方法：オンライン開催（Zoom ミーティング）

出席者

理事：土佐幸雄会長（代表理事），増田 税副会長（代表理事）

高橋英樹，夏秋知英，中島 隆，有江 力，平塚和之，景山幸二，高野義孝，一瀬勇規，竹下 稔

以上理事11名（現員11名，欠席者0名）

監事：濱本 宏，渡辺京子，夏秋啓子 以上監事3名（現員3名，欠席者0名）

オブザーバー：山次康幸，宮田伸一，キム オッキョン，晝間 敬，川部眞登，藤川貴史（幹事6名）

審議事項

1. 会員規程の改定について
2. 会費納付者のみを定時総会議決権をもつ会員として認める件について
3. 事前に同意した会員に電磁的方法により総会招集通知を行う件について
4. 総会開催方法について
5. 総会招集方法について
6. 定時総会参考資料ならびに総会決議事項について

報告事項

1. 令和 3 年度 第 2 回理事会, 臨時理事会議事録の確認
2. 細則の改定ならびに新設について

議事経過の概要

定刻になり, 理事 11 名, 監事 3 名が参加していることを確認した。

定款第 32 条により, 土佐幸雄会長が議長となった。理事および監事の出席数から, 定款第 33 条の規定を満たしており, 本会の成立を報告した。続けて議長は, 本理事会はテレビ会議システム (オンライン会議システム) を用いて開催することを説明し, かつ出席者の映像及び音声即時に他の出席者に伝わり, 出席者が一堂に会するのと同等の相互に十分な審議を行うことができる状態となっていることが確認された。

審議事項

1. 第 1 号議案 会員規程の改訂について

議長の指示により, オブザーバーの山次庶務幹事長より賛助会員の大会への招待数に関する会員規程の改訂について説明がなされた。議長が本件の承認を求めたところ, 全員異議なく, 本件は承認可決された。

2. 第 2 号議案 会費納付者のみを定時総会議決権をもつ会員として認める件について

議長の指示により, オブザーバーの山次庶務幹事長より会費納付者のみを定時総会議決権をもつ会員として認め, 会費未納者は会員とは見なさず, 定時総会における議決権を付与しないこととする提案について説明がなされた。議長が本件の承認を求めたところ, 全員異議なく, 本件は承認可決された。

3. 第 3 号議案 事前に同意した会員に電磁的方法により総会招集通知を行う件について

議長の指示により, オブザーバーの山次庶務幹事長より事前に電子メール等で同意を得た会員に対して電磁的方法

で総会招集通知を行うこととする提案について説明がなされた。議長が本件の承認を求めたところ, 全員異議なく, 本件は承認可決された。

4. 第 4 号議案 総会開催方法について

議長の指示により, オブザーバーの山次庶務幹事長より令和 4 年度大会がオンライン開催になったことに伴い, 日本植物防疫協会に総会議事進行に必要な最低限のメンバーが参集して総会を実施し, 会員にはその様子をオンラインツール Zoom ウェビナーにてウェブ配信するというスタイルで実施する案について説明がなされた。議長が本件の承認を求めたところ, 全員異議なく, 本件は承認可決された。

5. 第 5 号議案 総会招集方法について

議長の指示により, オブザーバーの山次庶務幹事長より定時総会決議に必要な会員数を満たすために電磁的方法 (Email あるいは FAX) による委任状ならびに議決権の行使による定時総会決議の成立を目指すことが提案された。続いて, 令和 4 年度総会招集通知案, 令和 4 年度委任状案および令和 4 年度議決権行使書案をもとに, 令和 4 年度総会招集に係る以下の概要が説明された。

(1) 招集日時・場所: 令和 4 年 3 月 27 日 (日) 9:00~

日本植物防疫協会会議室

議長の所在地を開催場所とする。

(2) 目的事項: 決議事項 4 件の承認, 報告事項 1 件の報告

(3) 開催方法: 当日会場の出席者は, COVID-19 対策を踏まえ, 議長 (会長), 議事録署名人の他, 議事進行に必要な少数での開催とすること。議事の模様はウェブ中継とするが, 会員数, 賛成者数の確認, 双方向の質疑応答等をオンラインで実施する困難に鑑みて, 総会の決議に必要な定足数の充足は, 会員から委任状, 議決権行使書の提出により諮ること。

(4) 電磁的方法による委任状, 議決権行使書の提出を認めること。招集通知日は 3/9 (水) とし, 委任状, 議決権行使書の提出〆切日は 3/24 (木) までとすること。

(5) 書面による招集通知を 2/25 発行の日植病報 87 巻 1 号に同封すること。

以上を踏まえ, 議長が本件の承認を求めたところ, 全員異議なく, 本件は承認可決された。

6. 第 6 号議案 定時総会参考資料ならびに総会決議事項について

議長の指示により, オブザーバーの山次庶務幹事長より令和 4 年度定時総会参考資料案をもとに決議事項 4 件, 報告事項 1 件について説明がなされた。議長が本件の承認を求めたところ, 全員異議なく, 本件は承認可決された。

7. 報告事項

議長の指示により、オブザーバーの山次庶務幹事長より令和3年度第2回理事会および臨時理事会議事録の報告が行われた。次いで、議長の指示により、山次庶務幹事長より学術奨励賞授賞対象者の産前・産後休暇、育児休業に伴う年齢要件を延長するのに必要な細則の改訂について説明された。さらに、議長の指示により、山次庶務幹事長より主催・共催・協賛・後援に関する細則の新設について説明された。

以上をもって、終始異常なく議事が終了したので、議長は閉会を宣言し、11:00 散会した。

日本植物病理学会令和4年度定時総会議事録

1. 開催日時：令和4年3月27日（日）午前 9:00～

2. 開催場所：日本植物防疫協会会議室

〒114-0015 東京都北区中里 2-28-10

3. 個人会員（社員）数 現在 1,169 名

書面による出席の個人会員（社員）数 212 名

うち、委任状提出 186 名

議決権行使書提出 26 名

4. 出席者

本総会は、定款第18条に定める委任状による代理出席および令和4年度第1回理事会（令和4年2月20日開催）において決定された書面ならびに電磁的方法による議決権行使による運営を原則とし、議長および議事の運営を担当する者を会場における実出席、理事・監事を Web 会議（テレビ会議システムを用いた遠隔地からの出席方法をいう。以下同じ。）による出席者として議事説明を行い、その模様を Web 中継により公開した。

（役員：現員は理事11名、監事3名）

会場で参加した理事：土佐幸雄（会長）

Web 会議で出席した理事：増田 税、高橋英樹、中島隆、有江 力、平塚和之、高野義孝、一瀬勇規

Web 会議で出席した監事：濱本 宏、三田（渡辺）京子（議事運営を担当した会員）

会場で参加した会員：山次康幸（庶務幹事長）、宮田伸一（庶務副幹事長）、キムオッキョン（会計幹事）、晝間敬（副会計幹事）、大里修一（次期庶務副幹事長）

Web 会議で出席した会員：川部眞登（庶務幹事）、藤川貴史（庶務幹事）、煉谷裕太郎（次期副会計幹事）、石橋和大（次期庶務幹事）

5. 決議事項

第1号議案 令和3年度 事業報告ならびに会計報告（案）承認の件

第2号議案 会員規程の一部改正（案）承認の件

第3号議案 副会長候補者選出規程ならびに監事候補者選出規程の一部改正（案）承認の件

第4号議案 令和4年度 役員（理事及び監事）選任の件

6. 報告事項

第1号 令和4年度事業計画書ならびに収支予算書

7. 議事経過の概要

1) 定足数の確認等

Web 会議に出席の理事8名、監事2名および議事運営を担当する会員9名について、システム上に問題なく、Web 会議による出席者の映像及び音声は即時に他の出席者に伝わりかつ出席者が一堂に会するのと同等の相互に十分な審議を行うことができる状態となっていることを確認した。山次庶務幹事長が委任状、議決権行使書を含む定足数の充足を確認し、本会議の議事進行および議案資料について説明した。

2) 議案の審議状況および議決結果等

定款第16条の規定により、土佐幸雄会長が議長となった。挨拶の後、書面ならびに電磁的方法（委任状及び議決権行使書双方を含む。）による出席の個人会員数が212名、会場の6名と合わせて218名となり、定款第18条に定める個人会員数の1/20である59名以上の出席を得たことを報告し、本会の成立を宣言した。

議長は議事録署名人として、宮田庶務副幹事長を指名した。

（決議事項）

第1号議案 令和3年度 事業報告ならびに会計報告（案）承認の件

議長の指名により山次庶務幹事長が、令和3年度事業報告書の内容を説明した。会員数、学会報出版状況、総会・委員会等開催状況、大会・部会・研究会等開催状況、功績者推挙、学会賞等の授賞、副会長候補者・監事候補者・評議員選出選挙の結果等について報告した。

続いて、議長の指名によりキム会計幹事が、令和3年度会計報告の内容を説明した。収支計算書および計算書類（正味財産増減計算書、貸借対照表および財産目録）を基に、事業の中止等に伴い事業活動支出計が当初予算より、14,210,158円減となったことなど、令和3年度決算の概要を報告した。

次いで、議長の指名により濱本監事が、令和3年度事業報告ならびに会計報告について、監事3名（濱本監事、渡辺監事および夏秋監事）により監査した結果、両報告の内容は正確かつ妥当であり、理事の職務執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は

認められなかった旨を報告した。

最後に、議長の指名により一瀬理事が、令和 3 年度学会報編集報告の内容を説明した。編集計画通り、英文誌 6 号、和文誌 4 号を発行した旨を報告した。

議長は第 1 号議案について、出席者 218 名全員が賛成の意を示したことから、第 1 号議案が原案通り可決したことを説明した。

第 2 号議案 会員規程の一部改正（案）承認の件

議長の指名により山次庶務幹事長が、学会誌のオンライン化促進、投稿料の無料化、会費低減を実現するため、学会誌冊子体の発行部数を削減し、それによる出版費用の削減により生じた収支差額を、会員の会費低減ならびに投稿料無料化として会員に還元すべく、会員規程第 2 条ならびに第 3 条の一部改正を行うこととした旨を報告した。また、賛助会員の大会への招待にあたっては令和 3 年度より口数に関わらず 1 名を招待することとして運用されているが、現行規程の該当する条項の改正が行われていないため、会員規程第 5 条の一部改正を行うこととした旨を報告した。

議長は第 2 号議案について、出席者 218 名の議決権の過半数をもって賛成の意を示したことを報告し、さらに会員 1 名から意見が提出されたことを報告した。議長の指示により、山次庶務幹事長が 65 歳以上の和文誌冊子体を希望しない正会員についても規程中に記載すべきという意見があったことを報告し、同会員の年会費を 65 歳以上の和文誌冊子体を希望する正会員と同額にする上での、両者を同じ区分として規程に記載することとした旨を報告した。議長は、第 2 号議案が以上の修正ののち可決したことを説明した。

第 3 号議案 副会長候補者選出規程ならびに監事候補者選出規程の一部改正（案）承認の件

議長の指名により山次庶務幹事長が、学会業務の増大に伴う負担軽減を図るため、現在郵送投票にて実施されている副会長候補者ならびに監事候補者の選出選挙について、電子投票による選出を可能とするべく、副会長候補者選出規程第 6 条ならびに監事候補者選出規程第 6 条の一部改正を行うこととした旨を報告した。

議長は第 3 号議案について、出席者 218 名全員が賛成の意を示したことから、第 2 号議案が原案通り可決したことを説明した。

第 4 号議案 令和 4 年度 役員（理事及び監事）選任の件

議長は、定款第 25 条の規定により、当法人の理事及び監事が本定時総会の終結をもって任期満了となり退任するため、その後任理事及び後任監事を選任する必要が

ある旨を述べ、役員候補者選出規程に基づき、それぞれ以下に記載の 10 名がこの後任理事候補者及び以下に記載の 3 名がこの後任監事候補者であることを報告した。

(1) 役員候補者選出規程第 3 条の規定による「理事候補者（次期会長候補者）」

増田 税

(2) 役員候補者選出規程第 4 条の規定による「理事候補者（次期副会長候補者）」

平塚和之

(3) 役員候補者選出規程第 2 条第 2 項の規定による「理事候補者」

高橋英樹、眞岡哲夫、中島 隆、有江 力、瀧川雄一、高野義孝、一瀬勇規、竹下 稔

(4) 役員候補者選出規程第 5 条の規定による「監事候補者」

濱本 宏、三田（渡辺）京子、大島研郎

議長は第 4 号議案について、候補者全員の一人ひとりについて、出席者 218 名の議決権の過半数をもって賛成の意を示したことから、第 4 号議案が原案通り可決したことを説明した。続いて、出席中の当該被選任者が、それぞれ席上就任を承諾した。

（報告事項）

第 1 号 令和 4 年度事業計画書ならびに収支予算書

議長より、令和 4 年度事業計画書ならびに収支予算書は、令和 3 年 12 月 27 日開催の臨時理事会にて承認され、成立したことが報告された。

議長の指名により、令和 4 年度事業計画書については宮田庶務副幹事長から、収支予算書については晝間副会計幹事より概要が報告された。

議長は、以上をもって一部 Web 会議を使用した本総会は終始異状無く本日の議事を終了したことを述べ、午前 9:31 閉会した。

以上の議事が正確であることを証するため、議長が本議事録を作成し、定款第 19 条の規定により、議長および議事録署名人が記名押印する。

令和 4 年 3 月 27 日

一般社団法人 日本植物病理学会

議長・議事録作成者 土佐幸雄

㊞

議事録署名人 宮田伸一

㊞

IV. 一般社団法人日本植物病理学会令和4年度定時総会 参考資料

IV-1. 第1号議案 令和3年度事業報告ならびに会計報告 (案) (令和4年度事業は斜体 (参考))

1. 事業報告

- (1) 会員数 計 1,724 名 (令和4年1月1日現在)
 名誉会員 38 名 / 永年会員 68 名 / 正会員 1,184 名 (内
 外国会員 13 名) / 学生会員 214 名 / 学部生会員 17 名
 / 準会員 99 団体 / 賛助会員 40 社 (104 口)
 (令和3年1月1日当時: 会員数 1,754 名)

(2) 会員のご逝去

浅川 勝氏 令和3年3月3日
 寺岡 徹氏 令和3年7月19日
 吉野嶺一氏 令和3年8月30日
 LEMTUKEI, Daniel 氏 令和3年9月7日
 比留木忠治氏 令和3年11月15日
 大口富三氏 令和3年12月5日
 鈴木孝仁氏 令和4年1月9日

(3) 学会報編集データ

発行部数 英文誌: 第87巻1~6号 各 1,750 部
 (計 10,500 部)
 和文誌: 第87巻1~2号 各 1,900 部
 (計 3,800 部)
 第87巻3~4号 各 1,850 部
 (計 3,700 部)
 頒布部数 英文誌: 国内 (1~6号) 各 1,492 部
 (計 8,952 部)
 国外 (1~6号) 各 60 部
 (計 360 部)
 計 各 1,552 部
 (計 9,312 部)

[内 国外交換 37 / 国外寄贈 4 / 名誉会員 31 / 永年会員 6 /
 賛助会員 64 / 準会員 99 / (計 241)]

和文誌: 国内 (1~4号) 各 1,662 部
 (計 6,648 部)
 国外 (1~4号) 各 49 部
 (計 196 部)
 計 各 1,711 部
 (計 6,844 部)

[内 国内交換 5 / 国内寄贈 8 / 広告主 4 / 名誉会員 31 / 永
 年会員 56 / 賛助会員 64 / 準会員 99 / (計 267)]

(4) 総会・役員会

令和3年度総会 令和3年3月18日
 令和3年度第1回理事会 令和3年3月18日

令和3年度第1回評議員会
 令和3年度第2回評議員会
 令和3年度第2回理事会
 令和3年度臨時理事会
 令和4年度第1回評議員会
 令和4年度第1回理事会

令和3年3月18日
 令和3年11月27日
 令和3年11月27日
 令和3年12月27日
 令和4年2月12日
 令和4年2月20日

(5) 委員会等開催状況

幹事会 令和3年 1月23日
 2月6日
 2月27日
 3月17日
 5月29日
 7月10日
 9月11日
 11月13日
 令和4年 1月22日
 2月5日
 3月5日
 3月26日

将来問題検討委員会 令和3年 2月6日
 3月17日
 5月29日
 7月10日
 9月11日
 11月13日
 令和4年 1月22日
 3月5日
 3月26日

編集委員会 令和3年 2月28日
 12月20日
 令和4年3月開催予定

賞選考委員会 令和3年 9月11日
 功績者推薦委員会 令和3年 9月17日
 選挙管理委員会 令和3年11月5日
 病名委員会 令和3年 3月22日
 令和4年3月開催予定

学会ニュース編集委員会 令和3年 4月9日
 技術士対応委員会 令和3年 3月11日
 令和4年 1月21日

5学会技術士育成推進委員会 令和3年 3月12日
 令和4年 1月28日

(6) 大会開催状況

大会 令和3年3月17~19日 オンライン
 開催 (三重大学)

- 参加者：740名，一般講演：250題
- (7) 部会開催状況
- 北海道部会 令和3年10月15日
オンライン開催（北海道大学）
参加者：69名，一般講演：7題
- 東北部会 令和3年10月12～14日
オンライン開催（宮城大学）
参加者：78名，一般講演：24題
- 関東部会 令和3年9月21～22日
オンライン開催（千葉大学）
参加者：164名，一般講演：32題，
特別講演：1題
- 関西部会 令和3年9月21～22日
オンライン開催（石川県立大学）
参加者：206名，一般講演：73題，
部会長講演：1題
- 九州部会 令和3年11月24～26日
オンライン開催（九州沖縄農業研究センター）
参加者：65名，一般講演：26題，
地域貢献賞受賞講演：1題
- (8) 談話会・研究会・教育プログラム等開催状況
- 第30回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム
令和3年3月23日
オンライン開催（JA全農営農・技術センター）
- 植物感染生理談話会
令和3年9月1～3日
オンライン開催（宮崎大学）
- EBC研究会ワークショップ2021
令和3年9月15日
オンライン開催（茨城県農業総合センター）
- 第20回植物病原菌類談話会
令和3年12月11日
オンライン開催（静岡県農林環境専門職大学）
- (9) 名誉会員の推挙
第2回評議員会で，次の方を総会に推挙することが決定された（ABC順）。
- 難波成任氏，大木 理氏
- (10) 永年会員の推挙
第2回評議員会で次の方を総会に推挙することが決定された（ABC順）。

- 金子俊彦氏，牧野孝宏氏，太田光輝氏，尾崎政春氏
- (11) 令和4年度学会賞
第2回評議員会で次の3氏に授賞することが決定された（ABC順）。
- 青木孝之氏 「フザリウム属菌，特に植物加害性菌種の比較分類学的研究」
- 守川俊幸氏 「難防除ウイルス病の生態および防除に関する研究」
- 高野義孝氏 「炭疽病菌と植物の相互作用に関する分子遺伝学的研究」
- (12) 令和4年度学術奨励賞
第2回評議員会で次の3氏に授賞することが決定された（ABC順）。
- 藤本岳人氏 「ジャガイモ黒あし病の発生要因解明と高度診断技術の開発」
- 井上喜博氏 「イネ科植物いもち病菌・炭疽病菌の寄生性分化・ホストジャンプ機構の解析」
- 岡野夕香里氏 「植物ウイルスに対する多重抵抗性付与に向けた研究」
- (13) 令和4年度論文賞
第2回評議員会で次の2件に授賞することが決定された（掲載順）。
- Yukari Okano, Kensaku Maejima, Tetsuya Yoshida, Shuko Nishida, Ryosuke Tokuda, Masanobu Nishikawa, Shigetou Namba, Yasuyuki Yamaji. Interfamily transfer of Arabidopsis lectin-mediated antiviral gene confers resistance to pepino mosaic virus in tomato. *Journal of General Plant Pathology* 86 (4) 274-282 (2020)
- Hajime Akamatsu, Naoya Fujii, Takaaki Saito, Akira Sayama, Hideki Matsuda, Masaya Kato, Rui Kowada, Yukiko Yasuta, Yuji Igarashi, Hideo Komori, Katsuo Tanji, Tomohisa Kuroda, Yoichi Fujita, Makoto Hattori, Osamu Kawakami, Takeshi Hori, Genki Mimuro, Toshiyuki Morikawa, Nobuaki Murasaki, Yumi Aoki, Junko Sekihara, Yukihide Iyama, Hitoshi Nakada, Tadayasu Iwata, Toshinori Kichishima, Tomoka Ebitani, Fumiko Numada, Hitoshi Manta, Hirokazu Nakajima, Toru Yamashita, Kaoru Miyahara, Goro Toyoshima, Kazuyoshi Yamada, Ryo Yamamoto, Sunao Ochi. Factors affecting red crown rot caused by *Calonectria ilicicola* in soybean cultivation. *Journal of General Plant Pathology* 86 (5) 363-375 (2020)
- (14) 令和3年度日本農学進歩賞，日本学術振興会賞等の受賞候補者推薦
日本農学進歩賞受賞候補者選考細則等に準じて，各受賞

候補者を推薦した.

(15) 令和3年度関連学会等の受賞者

以下の会員が受賞した.

令和3年度(第20回)日本農学進歩賞

峯 彰氏 「病原細菌に対する植物免疫シグナリン
グネットワークの動態研究」

(16) 令和4年度副会長候補者選出選挙

令和3年10月施行(開票は11月5日), 平塚和之氏が
選出された.

(17) 令和4-5年度監事候補者選出選挙

令和3年10月施行(開票は11月5日), 濱本 宏氏,
大島研郎氏, 渡辺京子氏が選出された.

(18) 令和4-5年度評議員選出選挙

令和3年10月施行(開票は11月5日)された.

2. 会計報告

(1) 一般会計収支計算書（令和 3 年 1 月 1 日～令和 3 年 12 月 31 日）

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	19,984,000	19,760,588	223,412
正会員会費収入	11,920,000	11,755,000	165,000
学生会員会費収入	1,170,000	1,131,000	39,000
学部生会員会費収入	21,000	22,000	△ 1,000
外国会員会費収入	93,000	167,588	△ 74,588
準会員会費収入	1,530,000	1,485,000	45,000
賛助会員会費収入	5,250,000	5,200,000	50,000
会報刊行収入	7,010,000	6,716,058	293,942
頒布収入	2,400,000	2,717,507	△ 317,507
広告料収入	110,000	125,000	△ 15,000
著者負担金収入	4,500,000	3,873,551	626,449
事業収入	13,968,000	7,174,802	6,793,198
大会運営収入	8,010,000	5,866,802	2,143,198
部会収入	2,710,000	824,500	1,885,500
談話会・研究会収入	2,518,000	483,500	2,034,500
教育プログラム収入	730,000	0	730,000
雑収入	74,000	312,263	△ 238,263
預金利息収入	4,000	1,611	2,389
雑収入	70,000	310,652	△ 240,652
事業活動収入計	41,036,000	33,963,711	7,072,289
2. 事業活動支出			
会報刊行費支出	15,400,000	15,018,349	381,651
印刷製本費支出	11,400,000	11,020,844	379,156
編集費支出	4,000,000	3,997,505	2,495
事業支出	16,100,000	6,144,877	9,955,123
大会支出	9,010,000	4,505,480	4,504,520
部会支出	3,230,000	1,092,560	2,137,440
談話会・研究会支出	3,000,000	546,837	2,453,163
教育プログラム支出	860,000	0	860,000
学術奨励関係費支出	755,000	743,700	11,300
国際学術交流費支出	150,000	0	150,000
情報電子化費支出	2,050,000	1,272,625	777,375
HP 充実費	1,450,000	388,863	1,061,137
情報維持費	600,000	883,762	△ 283,762
男女共同参画支援費	100,000	0	100,000
負担金支出	690,000	577,621	112,379

男女共同参画学協会連絡会負担金支出	10,000	10,000	0
JABEE 負担金支出	50,000	50,000	0
日本農学会負担金支出	130,000	113,200	16,800
植物保護科学連合負担金支出	50,000	0	50,000
日本微生物学連盟負担金支出	100,000	100,000	0
国際植物保護科学会負担金支出	50,000	50,000	0
国際植物病理学会 (ISPP) 負担金支出	300,000	254,421	45,579
事業運営費支出	3,120,000	447,862	2,672,138
会議費支出	800,000	18,862	781,138
旅費交通費支出	1,750,000	3,100	1,746,900
各種委員会関係費支出	570,000	425,900	144,100
管理費支出	4,755,000	4,704,808	50,192
通信運搬費支出	300,000	344,841	△ 44,841
消耗品費支出	125,000	26,162	98,838
事務管理費支出	3,190,000	3,190,000	0
印刷費支出	100,000	0	100,000
外部監査管理費	300,000	286,274	13,726
雑支出	740,000	857,531	△ 117,531
事業活動支出計	43,120,000	28,909,842	14,210,158
事業活動収支差額	△ 2,084,000	5,053,869	△ 7,137,869
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	0	5,000,000	△ 5,000,000
学術事業安定基金取得支出	0	5,000,000	△ 5,000,000
固定資産取得支出	0	935,000	△ 935,000
投資活動支出計	0	5,935,000	△ 5,935,000
投資活動収支差額	0	△ 5,935,000	5,935,000
III 財務活動収支の部			
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	△ 2,084,000	△ 881,131	△ 1,202,869
前期繰越収支差額	13,263,947	16,356,144	△ 3,092,197
次期繰越収支差額	11,179,947	15,475,013	△ 4,295,066

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、未払金、仮払金、前受金及び預り金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	20,697,167	20,538,561
未 収 金	2,413,933	1,188,348
前 払 金	508,842	254,421
仮 払 金	1,000,000	1,000,000
合 計	24,619,942	22,981,330
未 払 金	49,773	533,317
前 受 金	8,169,000	6,973,000
預 り 金	45,025	0
合 計	8,263,798	7,506,317
次期繰越収支差額	16,356,144	15,475,013

(2) 貸借対照表（令和3年12月31日現在）

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	20,538,561	20,697,167	△ 158,606
未収金	1,188,348	2,413,933	△ 1,225,585
前払金	254,421	508,842	△ 254,421
仮払金	1,000,000	1,000,000	0
流動資産合計	22,981,330	24,619,942	△ 1,638,612
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
学術事業安定化基金	25,021,680	20,021,680	5,000,000
学術奨励基金	18,356,274	18,356,274	0
国際学術交流基金	13,459,261	13,459,261	0
特定資産合計	56,837,215	51,837,215	5,000,000
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	1,019,517	303,050	716,467
その他固定資産合計	1,019,517	303,050	716,467
固定資産合計	57,856,732	52,140,265	5,716,467
資産合計	80,838,062	76,760,207	4,077,855
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	533,317	49,773	483,544

前受金	6,973,000	8,169,000	△ 1,196,000
預り金	0	45,025	△ 45,025
流動負債合計	7, 506, 317	8, 263, 798	△ 757, 481
負債合計	7, 506, 317	8, 263, 798	△ 757, 481
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	73, 331, 745	68, 496, 409	4, 835, 336
正味財産合計	73, 331, 745	68, 496, 409	4, 835, 336
負債及び正味財産合計	80, 838, 062	76, 760, 207	4, 077, 855

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

消費税等の会計処理は税込み方式によっている

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
学術事業安定化基金	20,021,680	5,000,000	0	25,021,680
学術奨励基金	18,356,274	0	0	18,356,274
国際学術交流基金	13,459,261	0	0	13,459,261
合 計	51,837,215	5,000,000	0	56,837,215

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
学術事業安定化基金	25,021,680	0	(25,021,680)	0
学術奨励基金	18,356,274	0	(18,356,274)	0
国際学術交流基金	13,459,261	0	(13,459,261)	0
合 計	56,837,215	0	(56,837,215)	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

科 目	取得価額	当期減少額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア（クレジット機能）	313,500	62,700	73,150	240,350
ソフトウェア（大会システム）	935,000	155,833	10,450	779,167
合 計	1,248,500	218,533	83,600	1,019,517

(3) 正味財産増減計算書 (令和3年1月1日～令和3年12月31日)

(単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	19,760,588	8,949,000	10,811,588
正会員会費	11,755,000	1,805,000	9,950,000
学生会員会費	1,131,000	305,000	826,000
学部生会員会費	22,000	7,000	15,000
外国会員会費	167,588	52,000	115,588
準会員会費	1,485,000	1,530,000	△ 45,000
賛助会員会費	5,200,000	5,250,000	△ 50,000
会報刊行収益	6,716,058	7,935,057	△ 1,218,999
頒布収益	2,717,507	2,211,854	505,653
広告料収益	125,000	110,000	15,000
著者負担金益	3,873,551	5,613,203	△ 1,739,652
事業収益	7,174,802	893,500	6,281,302
大会運営収入	5,866,802	0	5,866,802
部会収入	824,500	893,500	△ 69,000
談話会・研究会収入	483,500	0	483,500
雑収益	312,263	1,160,792	△ 848,529
預金利息	1,611	1,694	△ 83
雑収益	310,652	1,159,098	△ 848,446
寄付金収入	0	67,587,980	△ 67,587,980
経常収益計	33,963,711	86,526,329	△ 52,562,618
(2) 経常費用			
会報刊行費	15,018,349	8,214,909	6,803,440
印刷製本費	11,020,844	5,689,145	5,331,699
編集費	3,997,505	2,525,764	1,471,741
事業支出	6,144,877	1,292,205	4,852,672
大会支出	4,505,480	0	4,505,480
部会支出	1,092,560	1,260,095	△ 167,535
談話会・研究会支出	546,837	32,110	514,727
学術奨励関係費	743,700	0	743,700
情報電子化費	1,272,625	415,780	856,845
HP 充実費	388,863	245,313	143,550
情報維持費	883,762	170,467	713,295
負担金	577,621	3,631,982	△ 3,054,361
男女共同参画学協会連絡会負担金	10,000	10,000	0
JABEE 負担金	50,000	50,000	0
日本農学会負担金	113,200	123,300	△ 10,100

日本微生物学連盟負担金	100,000	100,000	0
国際植物保護科学会負担金	50,000	50,000	0
国際植物病理学会 (ISPPS) 負担金	254,421	254,421	0
アジア植物病理学会 (ACPP) 開催負担金	0	3,044,261	△ 3,044,261
事業運営費	447,862	326,203	121,659
会議費	18,862	5,803	13,059
旅費交通費	3,100	3,900	△ 800
各種委員会関係費	425,900	316,500	109,400
管理費	4,923,341	4,148,841	774,500
通信運搬費	344,841	222,077	122,764
消耗品費	26,162	168,405	△ 142,243
事務管理費	3,190,000	3,265,000	△ 75,000
減価償却費	218,533	10,450	208,083
外部会計監査費	286,274	11,137	275,137
雑費	857,531	471,772	385,759
経常費用計	29,128,375	18,029,920	11,098,455
評価損益等調整前当期経常増減額	4,835,336	68,496,409	△ 63,661,073
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	4,835,336	68,496,409	△ 63,661,073
2. 経常外増減の部			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	4,835,336	68,496,409	△ 63,661,073
一般正味財産期首残高	68,496,409	0	68,496,409
一般正味財産期末残高	73,331,745	68,496,409	4,835,336
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
III 正味財産期末残高	73,331,745	68,496,409	4,835,336

(4) 財産目録（令和 3 年 12 月 31 日現在）

貸借対照表科目		場所・物量等	金 額
(流動資産)			
	現金	手元保管	91,224
	預金	普通預金	18,743,945
		三井住友銀行白山支店	4,728,667
		三菱 UFJ 銀行駒込支店	6,600,680
		PayPay 銀行	4,900,117
		SMBC 信託銀行	2,514,481
		振替貯金	1,703,392
	未収金		1,188,348
	前払金		254,421
	仮払金		1,000,000
	総会・大会		1,000,000
流動資産合計			22, 981, 330
(固定資産)			
特定資産			
	学術事業安定化基金		25,021,680
		三井住友銀行白山支店	1,000,000
		三菱 UFJ 銀行駒込支店	5,000,000
		三菱東京 UFJ 銀行定期	16,964,287
		三井住友銀行白山支店定期	51,393
		PayPay 銀行定期預金	2,006,000
	学術奨励基金		18,356,274
		三井住友銀行白山支店定期	17,027,595
		PayPay 銀行	1,328,679
	国際学術交流基金		13,459,261
		三井住友銀行白山支店定期	8,446,584
		PayPay 銀行定期	5,012,677
その他固定資産			
	ソフトウェア		1,019,517
固定資産合計			57, 856, 732
資産合計			80, 838, 062
(流動負債)			
	未払金		533,317
	前受金		6,973,000
	正会員		6,710,000
	学生会員		220,000
	学部生会員		4,000
	外国会員		39,000
流動負債合計			7, 506, 317
負債合計			7, 506, 317
正味財産			73, 331, 745

3. 監事監査報告

一般社団法人 日本植物病理学会
代表理事（会長） 土 佐 幸 雄 殿

一般社団法人日本植物病理学会の定款第 24 条の規定に基づき、令和 3 年度の事業報告ならびに会計報告、理事の職務遂行について監査を行いましたので、以下の通り報告します。

1. 監査の方法およびその内容

各監事は、理事会その他重要な会議に出席し、理事および幹事、学会事務局等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めるとともに、会計帳簿又はこれに関する調査等を実施して、当該事業年度における事業、財産等の状況について、調査いたしました。

また、令和 3 年度当学会収支決算について、令和 4 年 2 月 4 日に岡田事務所 岡田茂公認会計士の監査を受け、計算書類が「我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、日本植物病理学会の令和 3 年 12 月 31 日をもって終了する会計年度の収支及び正味財産増減の状況並びに同事業年度末日現在の財産状態をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。」との監査報告書を受け取りました。

以上に基づき、当該事業年度に係る事業報告ならびに会計報告（収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書および財産目録）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 1) 事業報告は、法令および定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 2) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 会計報告の監査結果

計算書類は、学会の財産および損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和 4 年 2 月 4 日
一般社団法人 日本植物病理学会
監事 濱 本 宏 ⑨
監事 夏 秋 啓 子 ⑨
監事 渡 辺 京 子 ⑨

4. 学会報編集報告

項 目	ページ数											
	JGPP（英文誌）							日植病報（和文誌）				
	1 号 1 月	2 号 3 月	3 号 5 月	4 号 7 月	5 号 9 月	6 号 11 月	計	1 号 2 月	2 号 5 月	3 号 8 月	4 号 11 月	計
[ページ数内]												
総説	—	—	10 (1)	—	—	—	10 (1)	—	—	—	—	—
テクニク	—	—	—	—	4 (1)	—	4 (1)	—	—	—	—	—
原著論文	23 (3)	27 (3)	28 (3)	28 (3)	17 (2)	54 (6)	177 (20)	6 (1)	7 (1)	13 (1)	37 (4)	63 (7)
短報	11 (2)	24 (4)	18 (3)	24 (4)	26 (4)	5 (1)	108 (18)	—	8 (2)	—	—	8 (2)
病害短信	20 (5)	21 (5)	16 (3)	15 (3)	19 (4)	—	91 (20)	—	4 (1)	4 (1)	—	8 (2)
100 周年記念	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
論文総ページ	54 (10)	72 (12)	72 (10)	67 (10)	66 (11)	59 (7)	390 (60)	6 (1)	19 (4)	17 (2)	37 (4)	79 (11)
講演要旨（会長・授賞者）	—	—	—	—	—	27 (7)	27 (7)	—	—	20 (7)	—	20 (7)
講演要旨（令和3年度大会）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	62	—	62
講演要旨（令和2年度部会）	—	—	—	—	—	—	—	50	—	—	—	50
本会記事	—	—	—	—	—	—	—	7	28	—	1	36
その他	—	—	1 (1)	1 (1)	—	1 (1)	3 (3)	3	3	3	3	12
計	54 (10)	72 (12)	73 (11)	68 (11)	66 (11)	87 (15)	420 (70)	66 (1)	50 (4)	102 (9)	41 (4)	259 (18)
[ページ数外]												
大会案内・お知らせ	—	—	—	—	—	—	—	4	3	5	2	14
定款・規定	—	—	—	—	—	—	—	36	—	—	—	36
学会ニュース	—	—	—	—	—	—	—	4	5	5	3	17
その他	—	—	—	—	—	—	—	6	7	4	11	28
計	0	0	0	0	0	0	0	50	15	14	16	95
[総計]	54	72	73	68	66	87	420	116	65	116	57	354

() は論文数

IV-2. 第2号議案 会員規程の一部改正（案）承認の件

当法人では、英文誌（Journal of General Plant Pathology, JGPP）ならびに和文誌（日本植物病理学会報）をオンラインならびに冊子体にて発行し、全正会員・学生会員の皆様に冊子体を配布して参りました。一方、昨今の世界の学術雑誌の趨勢は、さらなるオンライン化へと進みつつあり、またこれまで学会誌の発行に際しては、科学研究費補助金によるサポートを受けて参りましたが、今後そのサポートを受けるためには、さらなるオンライン化の取り組みが必要です。さらに、特にJGPPについては従来から投稿料が高いという指摘があり、JGPPを国際誌としてさらに発展させるためには、この問題への対処も急務です。そこで、冊子体の出版数を抑えてさらなるオンライン化を図る一方、出版費用の削減により生じた収支差額を、オンライン化にご協力いただいた会員の会費低減ならびにJGPPの投稿料無料化として会員の皆様に還元すべく、必要な規程の改正を行います。

また、賛助会員の皆様の大会への招待にあたっては昨年度より口数に関わらず1名をご招待することとして参りましたが、現行規程の該当する条項の改正が行われていないことが分かりましたため、規程の改正を行います。

会員規程

現行	改正（案）
(<u>個人会員の会員種別</u>) 第2条 本会定款第6条第1項第1号に定める<u>個人会員</u>は、<u>以下の区分で構成される。</u>	(<u>会員種別</u>) 第2条 本会の会員は、<u>本会定款第6条第1項に定める個人会員、賛助会員、準会員で構成される。</u> 2 前項の個人会員は、<u>以下の区分で構成される。</u> (会員種別に個人会員以外の会員について記載したことによる文章の適正化)
(<u>会費</u>) 第3条 本会会員の種別と会費は以下のとおりとする。 (1) 正会員：10,000円（ただし事業年度の4月1日時点で<u>65歳に達しており評議員の被選挙権を有さず、英文誌の配布をウェブ購読とする正会員は5,000円</u>） (<u>会費種別の追加</u>) (2) 学生会員：<u>5,000円</u> (<u>会費種別の追加</u>) (3) 学部生会員：1,000円（ただし、大学院生を除く大学等の学生、および、高等学校・中学校の生徒で、会報の配布はウェブ購読とする。 (4) 名誉会員及び永年会員：免除（ただし英文誌の配布を冊子体とする永年会員は5,000円） (<u>分割</u>) (<u>項目順の変更</u>) (5) 準会員：15,000円 (<u>説明の追加</u>) (6) 賛助会員：1口50,000円	(<u>会費</u>) 第3条 本会会員の種別と会費は以下のとおりとする。 (1) 正会員 <u>会報の配布をウェブのみとする場合：8,000円</u> <u>会報の配布をウェブ及び冊子体とする場合：10,000円</u> <u>事業年度の4月1日時点で65歳に達しており、英文誌をウェブ購読のみ希望する場合（和文誌の冊子体購読の有無は選択可能）：5,000円</u> (2) 学生会員 <u>会報の配布をウェブのみとする場合：2,000円</u> <u>会報の配布をウェブ及び冊子体とする場合：5,000円</u> (3) 学部生会員：1,000円（ただし、大学院生を除く大学等の学生、および、高等学校・中学校の生徒で、会報の配布はウェブのみとする。） (4) 名誉会員：会費は免除（会報の配布はウェブ及び冊子体） (5) 永年会員：会費は免除（会報の配布は英文誌でウェブのみ、和文誌でウェブ及び冊子体） <u>英文誌の冊子体購読も希望する場合：5,000円</u> (6) 外国会員：会費納入は円建てとし、<u>2,000円（会報の</u>

(説明の追加) (7) 外国会員の会費納入は円建とし <u>9,000 円</u> とする. (項目順の変更)	<u>配布はウェブのみ</u> (7) 準会員：15,000 円 <u>(会報の配布は冊子体のみ)</u> (8) 賛助会員：1 口 50,000 円 <u>(会報の配布は冊子体のみ)</u> (正会員及び学生会員の会費種別追加.) (会報の配布形態の変更に伴う名誉会員と永年会員の項目の分割.) (個人会員である外国会員の順序を繰り上げることによる項目順の変更.)
(大会への招待) 第 5 条 賛助会員はその<u>口数に応じ</u> 本会の大会に招待を受ける権利を有する.	(大会への招待) 第 5 条 賛助会員はその<u>口数に関わらず</u> 本会の大会に <u>1 名分の</u> 招待を受ける権利を有する. (賛助会員招待条件の変更.)
(別表) 参考までに、定款及び規程に定められる会員の種別、会費、権利等を<u>下表</u>にまとめる.	(別表) 参考までに、定款及び規程に定められる会員の種別、会費、権利等を<u>別表</u>にまとめる. (文章の適正化.)
附則 1. この規程は、2020 年 4 月 1 日から施行する.	附則 1. この規程は 2020 年 4 月 1 日より施行する. 2. この規程は、2022 年 3 月 27 日に一部改正（令和 4 年度定時総会において、第 2 条を修正、第 3 条各項を修正及び追加、別表を変更）. 3. この規程は、2023 年 1 月 1 日より施行する. <u>(総会日（2022 年 3 月 27 日）の日付を付記.)</u>

別表 現行

会員種別	年会費	会報の配布		会員料金での 投稿資格	研究集会		評議員の 選挙権・ 被選挙権	総会議事の 決定権
		英文誌	和文誌		参加費	研究発表 資格		
正会員	10,000 円	冊子体・ウェブ購読		有する		有する	有する ***	有する
65 歳以上 * の希望者	5,000 円	ウェブ購読	冊子体 ウェブ購読					
学生会員	5,000 円	冊子体・ウェブ購読						
学部生会員 **	1,000 円	ウェブ購読		有しない	会員料金	有しない		
名誉会員	無料	冊子体・ウェブ購読		有する		有する	有しない	有する
永年会員	無料	ウェブ購読	冊子体 ウェブ購読					
英文誌冊子体 希望者	5,000 円	冊子体・ウェブ購読						
賛助会員	一口 50,000 円	冊子体		和文誌への 広告掲載	大会に招待	有しない	有しない	有しない
準会員	15,000 円	冊子体		有しない	—			
外国会員	9,000 円	冊子体・ウェブ購読		有する	会員料金	有する	有しない	有する

* 事業年度の 4 月 1 日時点で 65 歳に達しており評議員の被選挙権を有しない者

** 大学院生を除く、中学生を含む学生

*** 選挙施行年度の 4 月 1 日時点で 65 歳に達している者は被選挙権を有しない

別表 改正 (案)

会員種別			年会費	会報の配布				投稿資格	研究集会		評議員の 選挙権・ 被選挙権	総会議事の 決定権
				英文誌		和文誌			参加費	研究発表 資格		
				ウェブ	冊子体	ウェブ	冊子体					
個人会員	正会員	ウェブ購読のみ	8,000 円	○	—	○	—	有する	会員料金	有する	有する ***	有する
		ウェブ・冊子体購読	10,000 円	○	○	○	○					
		65 歳以上 * の希望者	5,000 円	○	—	○	○/—***					
	学生会員	ウェブ購読のみ	2,000 円	○	—	○	—	有しない		有しない	有しない	
		ウェブ・冊子体購読	5,000 円	○	○	○	○					
	学部生会員 **		1,000 円	○	—	○	—					
	名誉会員		無料	○	○	○	○					
	永年会員		無料	○	—	○	○					
	英文誌冊子体 希望者		5,000 円	○	○	○	○					
	外国会員		2,000 円	○	—	○	—					
賛助会員		一口 50,000 円	—	○	—	○	有しない	大会に招待	有しない	有しない	有しない	
準会員		15,000 円	—	○	—	○	有しない	—	有しない	有しない	有しない	

* 事業年度の 4 月 1 日時点で 65 歳に達しており評議員の被選挙権を有しない者

** 大学院生を除く、中学生を含む学生

*** 和文誌冊子体の配布の有無については選択可能

**** 選挙施行年度の 4 月 1 日時点で 65 歳に達している者は被選挙権を有しない

IV-3. 第 3 号議案 副会長候補者選出規程ならびに監事候補者選出規程の一部改正（案）承認の件

当法人では、学会業務の増大に伴う負担軽減を図るため、評議員選挙の電子化や賞選考手続きの電子化を進めてまいりました。しかし、現在副会長候補者ならびに監事候補者

の選出にあたっては郵送投票による選出が行われていました。そこで、さらなる学会業務の効率化を図るため、副会長候補者選出選挙ならびに監事候補者選出選挙の電子投票を可能とするべく、規定の改正を行います。

副会長候補者選出規程

現行	改正（案）
（投票） 第 6 条 選挙は単記無記名投票によって行う。 2 投票用紙ならびに封筒は本会から送付した所定のものを用いる。封筒は大小 2 種とし、投票用紙を入れた小封筒には投票者の氏名を書かない。大封筒には投票者の氏名を明記する。 （新設）	（投票） 第 6 条 選挙は単記無記名投票によって行う。 2 投票は原則として電子投票により以下の要領で行う。ただし電子投票を行えない場合は郵送投票とする。 （1）電子投票は、インターネットを通して、評議員に割り振られた会員番号及びパスワードにより電子投票システムに接続して行う。接続は、各評議員が所持するインターネット接続機器を用いる。インターネット接続にかかる費用は評議員の負担とする。 （2）投票は、画面上に表示される評議員一覧から、候補者を選択する方法で行う。 （3）投票内容は、集計用のサーバーに送信される。投票後の取り消し又は修正は認めない。また、投票内容の確認には応じない。 （4）投票内容は投票者が特定できないように保存され、投票期間終了後、集計したデータは選挙管理委員会が管理する。 （5）投票開始日までに評議員から電子投票を行えない旨の申し出があった場合は、本会から送付した所定の投票用紙ならびに封筒を用いた郵送投票とする。この場合も、投票期日は電子投票と同日（必着）とする。 3 下記の投票は無効とする。 （1）第 6 条第 1 項に違反したもの （2）第 6 条第 2 項に違反したもの （3）大封筒に 2 枚以上小封筒を入れたもの （4）投票締切期日までに到着しなかったもの。 （削除） （3）投票締切期日までに到着しなかったもの。 （郵送投票に関する記載の削除） （電子投票に伴う項目の新設） （郵送投票に関する投票無効条件の削除）
附則 1. この規程は、2020 年 4 月 1 日から施行する。 2. この規程は、2021 年 3 月 18 日から施行する（令和 3 年度定時総会において、第 3 条第 2 項を追加）。	附則 1. この規程は、2020 年 4 月 1 日から施行する。 2. この規程は、2021 年 3 月 18 日から施行する（令和 3 年度定時総会において、第 3 条第 2 項を追加）。

	3. この規程は、2022年3月27日に一部改正（令和4年度定時総会において、第6条第2項を修正及び追加）。 4. この規程は、2022年4月1日より施行する。 （総会日（2022年3月27日）の日付を付記。）
--	---

監事候補者選出規程

現行	改正（案）
（投票） 第6条 選挙は3名連記無記名で行う。 2 投票用紙ならびに封筒は本会から送付した所定のものを用いる。封筒は大小2種とし、投票用紙を入れた小封筒には投票者の氏名を書かない。大封筒には投票者の氏名を明記する。 （新設）	（投票） 第6条 選挙は3名連記無記名で行う。 2 投票は原則として電子投票により以下の要領で行う。ただし電子投票を行えない場合は郵送投票とする。 （1）電子投票は、インターネットを通して、評議員に割り振られた会員番号及びパスワードにより電子投票システムに接続して行う。接続は、各評議員が所持するインターネット接続機器を用いる。インターネット接続にかかる費用は評議員の負担とする。 （2）投票は、画面上に表示される評議員一覧から、候補者を選択する方法で行う。 （3）投票内容は、集計用のサーバーに送信される。投票後の取り消し又は修正は認めない。また、投票内容の確認には応じない。 （4）投票内容は投票者が特定できないように保存され、投票期間終了後、集計したデータは選挙管理委員会が管理する。 （5）投票開始日までに評議員から電子投票を行えない旨の申し出があった場合は、本会から送付した所定の投票用紙ならびに封筒を用いた郵送投票とする。この場合も、投票期日は電子投票と同日（必着）とする。 3 下記の投票は無効とする。 （1）第6条第1項に違反したもの。ただし、3名に満たない投票は有効とする （2）第6条第2項に違反したもの （3）大封筒に2枚以上小封筒を入れたもの （4）投票締切期日までに到着しなかったもの （削除） （3）投票締切期日までに到着しなかったもの （郵送投票に関する記載の削除） （電子投票に伴う項目の新設） （郵送投票に関する投票無効条件の削除）
附則 1. この規程は、2020年4月1日から施行する。 2. この規程は、2021年3月18日から施行する（令和3年度定時総会において、第3条第2項を追加）。	附則 1. この規程は、2020年4月1日から施行する。 2. この規程は、2021年3月18日から施行する（令和3年度定時総会において、第3条第2項を追加）。 3. この規程は、2022年3月27日に一部改正（令和4年度

定時総会において、第 6 条第 2 項を修正及び追加).

4. この規程は、2022 年 4 月 1 日より施行する。

(総会日 (2022 年 3 月 27 日) の日付を付記.)

IV-4. 第 4 号議案 令和 4 年度役員 (理事及び監事) 選任の件

令和 4 年度の役員候補者は、以下の通りです。

(1) 役員候補者選出規程第 3 条の規定による「理事候補者 (次期会長候補者)」

増田 税

(2) 役員候補者選出規程第 4 条の規定による「理事候補者 (次期副会長候補者)」

平塚和之

(3) 役員候補者選出規程第 2 条第 2 項の規定による「理事候補者」

高橋英樹, 眞岡哲夫, 中島 隆, 有江 力, 瀧川雄一, 高野義孝, 一瀬勇規, 竹下 稔

(4) 役員候補者選出規程第 5 条の規定による「監事候補者」

濱本 宏, 大島研郎, 渡辺京子

IV-5. 報告事項第 1 号 令和 4 年度事業計画書ならびに収支予算書

(日本植物病理学会報 88 巻 1 号に掲載済)

日本植物病理学会令和 4 年度第 2 回理事会議事録

日 時: 令和 4 年 3 月 27 日 (日) 午前 9:32~9:43

開催場所: 日本植物防疫協会会議室 〒114-0015 東京都北区中里 2-28-10

出席者

理事: 増田 税, 平塚 和之, 高橋英樹, 眞岡哲夫, 中島 隆, 有江 力, 瀧川雄一, 高野義孝, 一瀬勇規

以上理事 9 名 (現員 10 名, 欠席者 1 名: 竹下 稔)

監事: 濱本 宏, 三田 (渡辺) 京子, 大島研郎

以上監事 3 名 (現員 3 名, 欠席者 0 名)

オブザーバー: 土佐幸雄, 山次康幸, 宮田伸一, 川部眞登, キム オッキョン, 藤川貴史, 晝間 敬 (幹事 7 名)

※オブザーバー 5 名 (土佐幸雄, 山次康幸, 宮田伸一, キム オッキョン, 晝間 敬) を除く各理事, 監事, オブザーバーはテレビ会議システムにより遠隔地より出席

審議事項:

第 1 号議案 代表理事 (会長および副会長) の選定の件

報告事項

第 1 号 代表理事の職務執行状況の報告

第 2 号 令和 3 年度 第 1 回理事会議事録の確認

議事経過の概要

定刻になり、理事 9 名, 監事 3 名が参加していることを確認した。

増田税理事より、直前に開催された令和 4 年度定時総会にて理事、監事選定後、すぐの理事会開催であるため、理事会招集周知を省略することの承認を求めたところ、理事、監事全員の黙示により承認された。

理事 9 名の互選により、増田税氏が議長となった。挨拶の後、理事および監事の出席数から、定款 33 条の規定を満たしており、本会の成立を報告した。続けて議長は、本理事会は一部テレビ会議システム (オンライン会議システム) を用いて開催することを説明し、かつ出席者の映像及び音声と同時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様の相互に十分な審議を行うことができる状態となっていることが確認された。

1. 第 1 号議案 代表理事 (会長および副会長) の選定の件
議長の指示により、オブザーバーの土佐幸雄氏より、定款第 29 条および役員候補者選出規程第 3 条の規定により、理事会に代表理事 (会長) として増田 税氏を推薦し選定したきこと、また、役員候補者選出規程第 4 条の規定により、代表理事 (副会長) として平塚和之氏を推薦し選定したきことが説明された。

審議の後、議長が本件の承認を求めたところ、出席理事は全員異議なくこれに賛成の意を示したので、本議案は原案どおり承認可決された。増田 税氏ならびに平塚和之氏も、それぞれ席上就任を承諾したので、代表理事 (会長) ならびに代表理事 (副会長) の選定を確定した。

2. 報告事項

議長より、職務の執行状況として、令和 4 年度の事業計画に沿って滞滞なく事業計画を進めていることが説明された。また、議長の指示により、オブザーバーの山次康幸氏より令和 4 年度第 1 回理事会議事録の報告が行われた。

以上をもって、一部テレビ会議システムを使用した本理事会は終始異状無く議事を終了したので、議長は閉会を宣

言し、午前 9:43 散会した。

上記の事項を明確にするため、議長が本議事録を作成し、出席代表理事 2 名および監事 3 名の全員がこれに記名押印する。

令和 4 年 3 月 27 日

一般社団法人 日本植物病理学会

代表理事（会長）	増田 税
代表理事（副会長）	平塚和之
監事	濱本 宏
監事	三田（渡辺）京子
監事	大島研郎

日本植物病理学会令和 4 年度第 2 回評議員会議事録

日 時：令和 4 年 3 月 27 日（日）13:00～15:00

開催場所：オンライン開催（Zoom 会議）

出席者：

秋光和也、青木孝之、有江 力、藤 晋一、濱本 宏、長谷 修、曳地康史、堀田治邦、古屋成人、一瀬勇規、磯貝雅道、岩井 久、岩波 徹、金山晋治、兼松聡子、菊武和彦、北 宜裕、小林括平、児玉基一朗、近藤則夫、久保康之、眞岡哲夫、三瀬和之、守川俊幸、森山裕充、中保一浩、中島千晴、中島 隆、大島一里、大島研郎、大藤泰雄、佐藤 衛、塩見 寛、宍戸雅宏、須賀晴久、鈴木信弘、高垣真喜一、高橋英樹、高野義孝、竹本大吾、竹下 稔、瀧川雄一、東條元昭、土佐幸雄、津田新哉、柘植尚志、渡辺京子、山次康幸、吉田重信、増田 税会長、平塚和之副会長、宮田伸一庶務幹事長

以上評議員 52 名

幹事：大里修一庶務副幹事長、藤川貴史庶務幹事、石橋和大庶務幹事、晝間敬会計幹事、煉谷裕太郎副会計幹事

令和 4 年度第 2 回評議員会をオンライン開催し、以下の審議事項について審議し承認された。

I. 審議事項

1. 令和 4 年度 日本学術振興会賞推薦候補者の選定について

令和 4 年度日本学術振興会賞候補者に藤川貴史氏を推薦することが承認可決された。日本農学進歩賞の候補者は選定中であり、評議員による投票を経て候補者を決定することが報告された。

2. 令和 4 年度 委員等の選任について

令和 4 年度役員および委員について資料に基づいて説明

され、4 月 12 日に一部修正を加えた後、承認された。

3. 令和 5 年度 日本植物病理学会大会の開催地・時期について

令和 5 年度の日本植物病理学会大会は神奈川県厚木市（東京農業大学）において令和 5 年 3 月下旬に開催される予定であると報告され、承認された。

4. 令和 6 年度 日本植物病理学会大会開催ブロックについて

令和 6 年度の日本植物病理学会大会については、令和 3 年度第 1 回評議員会継続審議の報告に基づき開催ブロック順を交代し、東北ブロックで開催されることが報告され、承認された。また、令和 7 年度は中四国ブロックで開催される予定であること、次々回に回ってくるときは元の開催順番とすることが報告され、承認された。

5. 学会誌オンライン化、会費低減、投稿料無料化にむけた進め方について

冊子体の出版数を抑えてさらなるオンライン化を図る一方、出版費用の削減により生じた収支差額を、オンライン化に協力いただいた会員の会費低減と JGPP の投稿料無料化として会員に還元するため、令和 4 年度日本植物病理学会総会において一部改正された会員規程に則り、新しい会員区分に基づいたオンライン会員への移行手続きを 4 月以降に行うことが報告され、承認された。

6. 総会のあり方について

日本植物病理学会の一般社団法人化に伴い総会の開催方法にいくつもの制約が加わっており、諸事情から開催時期が 3 月末に限定されることとなっている。大会の開催時期は開催地による裁量が認められているが、総会開催時期の制約に縛られかねず、参加者数の減少などが危惧されることから、総会と大会の分離も含め、緊急に対応策を検討する必要がある。今後、将来問題検討委員会に対応策を検討することが報告され、承認された。

II. 報告事項

1. JGPP のレフェリーに対する感謝状の贈呈について

JGPP ならびに日本植物病理学会報のレビューのインセンティブを高めるため、令和 3 年度のレビューを 3 回以上行った 6 名の方に、会長および編集委員長より感謝状を贈呈することが報告された。対象者氏名は以下の通りである。飯山和弘、井上康宏、今崎伊織、久保田健嗣、前島健作、森脇丈治（回数順・敬称略）。

令和4年度役員および委員

会 長 増田 税

副会長 平塚和之

評議員 (◎理事)

北海道地区 ◎増田 税 近藤則夫 堀田治邦

東北地区 ◎高橋英樹 藤 晋一 長谷 修
磯貝雅道北関東地区 ◎眞岡哲夫 ◎中島 隆 吉田重信
兼松聡子 中保一浩 大藤泰雄
青木孝之南関東地区 ◎有江 力 ◎平塚和之 渡辺京子
山次康幸 北 宜裕 大島研郎
津田新哉 濱本 宏 森山裕充
安戸雅宏中部地区 ◎瀧川雄一 柘植尚志 中島千晴
須賀晴久 守川俊幸 竹本大吾近畿地区 ◎高野義孝 久保康之 土佐幸雄
三瀬和之 東條元昭中国・四国地区 ◎一瀬勇規 曳地康史 児玉基一朗
秋光和田 鈴木信弘 小林括平九州地区 ◎竹下 稔 大島一里 岩井 久
古屋成人

編集委員長 高橋英樹

庶務幹事長 宮田伸一

会長指名 岩波 徹 金山晋治 菊武和彦
佐藤 衛 塩見 寛 高垣真喜一

監 事 濱本 宏 大島研郎 渡辺京子

原著編集委員 (◎委員長, ○副委員長)

◎高橋英樹 ○長谷 修

Bogdanove, A. J. 中馬いづみ

Day, B. Dou, D. 藤川貴史

飯田祐一郎 池田健一 今崎伊織

海道真典 小松 健

Kormelink, R. 窪田昌春 松下陽介

中保一浩 Pieterse, C. M. J.

Preston, G. M. 佐橋憲生

関根健太郎 清水将文 竹下 稔

竹内香純 田中和明 富高保弘

植原健人 宇佐見俊行 渡辺京子

Yun, S.-H.

賞選考委員 (◎委員長)

◎増田 税 平塚和之 児玉基一朗

眞岡哲夫 高橋英樹 土佐幸雄

津田新哉

功績者推薦委員 (◎委員長)

◎柘植尚志 有江 力 一瀬勇規
岩井 久

選挙管理委員 (◎委員長)

◎北 宜裕 鈴木文彦 山次康幸

病名委員 (◎委員長)

◎佐藤 衛 青木孝之 藤 晋一
廣岡裕吏 井上康宏 岩井 久
小坂橋基夫 近藤則夫 窪田昌春
升屋勇人 松下範久 三澤知央
望月知史 森脇丈治 夏秋啓子
笹谷孝英 篠原弘亮 菅原 敬
須崎浩一 竹内 純 田中栄爾
達 瑞枝 月星隆雄 植原健人

幹 事

庶務幹事長 宮田伸一

庶務副幹事長 大里修一

庶務幹事 藤川貴史 石橋和大

会計幹事 晝間 敬

副会計幹事 煉谷裕太郎

編集幹事長 宮下脩平

編集幹事 安藤杉尋 千秋祐也 深田史美

橋本将典 石賀康博 岩井孝尚

小林 隆 宮野法近 中村茂雄

煉谷裕太郎 岡野夕香里 染谷信孝

八重樫元

専門委員会 (◎委員長)

学会ニュース編集委員会

◎門田育生 大里修一 宮田伸一
宮本拓也 藤川貴史

植物ウイルス分類委員会

◎鈴木信弘 藤 晋一 畑谷達児
岩波 徹 鍵和田聡 近藤秀樹
望月知史 大島一里 笹谷孝英
津田新哉 宇垣正志 山次康幸
吉川信幸

国際化対応委員会

◎有江 力 濱本 宏 曳地康史
平塚和之 近藤則夫 柘植尚志
秋光和田 高野義孝

将来問題検討委員会

◎増田 税 平塚和之 土佐幸雄
兼松聡子 山次康幸 晝間 敬
橋本将典 キム オッキョン

大里修一 宮田伸一
 教育プログラム推進委員会
 ◎平塚和之 一瀬勇規 守川俊幸
 藤 晋一 藤川貴史
 技術士対応委員会
 ◎濱本 宏 山次康幸 藤川貴史
 渡邊 健 栢森美如 大里修一
 煉谷裕太郎
 5 学会技術士育成推進委員会
 ◎濱本 宏 佐藤 衛 山次康幸
 煉谷裕太郎
 JABEE 対応委員会
 ◎濱本 宏 有江 力 岩井 久
 増田 税 大里修一 大島一里
 穴戸雅宏 高橋英樹 土佐幸雄
 豊田和弘
 男女共同参画推進委員会
 ◎兼松聡子 岡野夕香里 志村華子
 中馬いづみ 橋本将典
 キム オッキョン
 部会長
 北海道部会長 近藤則夫
 東北部会長 藤 晋一
 関東部会長 渡辺京子
 関西部会長 曳地康史
 九州部会長 竹下 稔
 日本学術会議・日本農学会・国際学会等の委員
 日本学術会議 連携会員 渡辺京子 上田一郎
 日本植物保護科学連合運営委員会 運営委員
 宮田伸一 煉谷裕太郎
 日本微生物学連盟 (FMSJ) 理事 山次康幸

一般社団法人日本農学会
 評議員 増田 税 平塚和之
 運営委員 宮田伸一
 公益財団法人農学会 農学教育推進委員 濱本 宏
 国際微生物連合 (IUMS)
 対応委員 一瀬勇規
 ウイルス分類委員 鈴木信弘
 細菌命名委員 瀧川雄一
 国際植物保護科学会 (IAPPS) 東北アジア地区理事
 有江 力
 国際植物病理学会 (ISPP)
 Council Members 秋光和也 有江 力 高橋英樹
 一瀬勇規
 Correspondent for Newsletter 高橋英樹
 Members of Committee
 Bacteriology 一瀬勇規
 Epidemiology 川口 章
 Fusarium 青木孝之
 Phytophthora 東條元昭
 Rhizoctonia 荒川征夫
 Soilborne Plant Pathogens 穴戸雅宏
 アジア植物病理学会 (AASPP)
 Vice President 有江 力

令和4年度大会運営委員会
 大会委員長: 近藤則夫
 大会副委員長: 増田 税 中馬いづみ
 プログラム委員長: 近藤則夫
 運営委員: 秋野聖之 犬飼 剛 志村華子 曾根輝雄
 中原健二 畑谷達二 (50 音順)

名誉会員および永年会員

名 誉 会 員

阿久津克己	道家紀志	遠藤武雄	後藤正夫	日比忠明	平野和弥	本田雄一	堀野 修	百町満朗
飯田 格	稲葉忠興	加来久敏	加藤 肇	小林享夫	甲元啓介	小島 誠	久能 均	松山宣明
眞山滋志	内藤繁男	難波成任	生越 明	大木 理	奥田誠一	奥野哲郎	大内成志	佐古宣道
四方英四郎	白石友紀	高橋 壯	寺中理明	土屋健一	土崎常男	露無慎二	上田一郎	渡辺 實
山田昌雄	山口 昭	米山勝美						

永 年 会 員

荒井 啓	舟山広治	濱屋悦次	原田幸雄	部田英雄	平塚利子	堀 眞雄	堀尾英弘	一谷多喜郎
家城洋之	飯嶋 勉	稲垣公治	井上成信	石島 嶺	門脇義行	要 司	金子俊彦	神澤克一
粕山新二	勝部利弘	菊本敏雄	木村俊夫	小林尚志	児玉不二雄	小金澤碩城	久保 進	倉橋良雄
牧野 精	牧野孝宏	益子道生	松本 勲	松本 勤	松田安男	宮島邦之	森田 昭	本吉總男
長井雄治	内藤秀樹	根本正康	賛田裕行	西村典夫	野村幸彦	野津幹雄	小川 奎	大橋祐子
大沢高志	大島俊市	太田光輝	尾崎政春	齋藤 泉	坂本 庵	柴田幸省	下村 徹	角名郁郎
周藤靖雄	但見明俊	高桑 亮	玉田哲男	丹田誠之助	鳥山重光	土屋貞夫	宇田川晃	植松 勉
上杉康彦	宇杉富雄	渡邊恒雄	山本孝彦	横山佐太正	吉村大三郎	善林六朗	池上八郎	

2022 年度第 1 回日本農学会運営委員会議事録（案）

日 時：2022 年 3 月 14 日（月）15:30～15:55

場 所：Web（Zoom）会議

出席者：

大杉 立会長，大政謙次副会長，渡部終五副会長，佐藤秀一監事，與語靖洋監事，松元 哲（園芸），矢部和弘（シス農），竹本周平（樹木医（代）），中村英光（植調／農薬），龍原 哲（森計），高橋輝昌（森立／芝草（代）），岩田洋佳（育種），伏信進矢（応糖），太田能之（家禽），飯森文平（国地開（代）），松村一善（砂丘），青木直大（作物），鈴木雅京（蚕糸），春原由香里（雑草），中川貴之（獣医），山次康幸（植病），玉井幸治（森林），塩出大輔（水工），安永円理子（生環），齋藤勝晴（草地），大塚重人（土肥），二又裕之（土微（代）），上吉原裕亮（熱農），濱寄孝弘（気象），赤池慎吾（農経（代）），田中 智（繁殖），中谷朋昭（フード），久保寺秀夫（ペドロ），石神靖弘（農情），吉田修一郎（農村工），牧山正男（農計），杉野弘明（復興），落合 陽（木加工（代）／木質），黒住圭子（事務担当）

欠席者：

堀田和彦（実農），土肥哲也（生態），宮部和幸（地域経），大井田寛（応動昆），矢沢勇樹（海水），長阪玲子（水産），山本清龍（造園），山内啓太郎（畜産），渡邊 学（動遺育），松本浩一（経営），松田 幹（農化），安達俊輔（農作），恒次祐子（木材），吉田 誠（木保存），林 薫平（有

機），五月女格（食料工），荒木徹也（農施），興杣克久（林経）

議長：大杉会長

進行：岩田庶務担当常任委員

議事：

1. 役員・常任委員について
2. 2022 年度（第 5 回）総会報告
3. 2022 年度（第 93 回）日本農学会大会準備状況
4. 2022 年度シンポジウム準備状況
5. 2023 年度シンポジウムテーマについて
6. その他

議事 1. 役員・常任委員について

岩田庶務担当常任委員より新役員が紹介された。会長の
大杉立氏，副会長の大政謙次氏および渡部終五氏，監事の
佐藤秀一氏および與語靖洋氏からそれぞれ挨拶があった。
引き続き，庶務担当常任委員の岩田洋佳氏，企画担当の玉
井幸治氏，会計担当の松元哲氏，さらに新任常任委員，庶
務担当の濱寄孝弘氏，会計担当の上吉原裕亮氏，企画担当
の松本浩一氏（欠席）が紹介され，出席常任委員から挨拶
を行った。

議事 2. 2022 年度（第 5 回）総会報告

岩田庶務担当常任委員より資料に基づき議事内容につ
いて説明があった。

松元会計担当常任委員より資料に基づき決算報告つい

て説明があった。

議事 3. 2022 年度（第 93 回）日本農学会準備状況

岩田庶務担当常任委員より資料に基づき説明があった。

伊藤国際学術センター 伊藤謝恩ホールにて、会場参加 140 名、オンライン配信のハイブリッド方式で開催することが報告された。会場の都合上、13 時 30 分から開始し、パネルディスカッションは行わないことが説明された。貴重な機会なので、各学協会ホームページやメーリングリスト等で会員等への周知と会場参加のお願いがあった。

議事 4. 2022 年度シンポジウム準備状況

玉井企画担当常任委員より資料に基づき、2022 年度日本農学会シンポジウム「カーボンニュートラルの達成に向けた農学研究」の話題提供をお願いし、10 学協会から話題（講演者）の推薦があったことが報告された。理事会で 10 話題から 8 話題に決定したことが報告された。講演依頼する演題の推薦学会は以下の通り。園芸学会、日本育種学会、日本草地学会、日本畜産学会、日本木材学会、農村計画学会、復興農学会、日本土壌肥料学会。

今後、企画委員会において、詳細について検討していく旨報告があった。

議事 5. 2023 年度シンポジウムテーマについて

岩田庶務担当企画担当委員より資料に基づきシンポジウ

ムテーマ募集を例年通り行うので、ぜひたくさんの方のテーマを出してほしい旨お願いがあった。

議事 6. その他

- 岩田庶務担当常任委員より日本農学会役員一覧に基づき説明があり、4 月以降変更があった場合は速やか事務局に連絡するようお願いがあった。
- 常任委員割当て表を元に今後の常任委員をお願いする旨説明があった。
- 第 93 回日本農学会大会ポスターについて、日本農学会のホームページから入手できる旨説明があった。

• 総会日程 2023 年度（第 6 回）総会 2023 年 2 月 11 日（土・祝日）

• 運営委員会日程

運営委員会 9 月 7 日（水）15:00～

12 月 7 日（水）15:00～

次回運営委員会 9 月 7 日（水）15:00～

開催形式は今後のコロナ禍の状況によりでの会議方式（対面またはオンラインなど）を決定する。

以 上